

野口南っ子 家庭学習の手引き 保護者版

小学校1・2年生では…

学習時間の目安

20～30分

子どもたちは小学校に入学し、いろいろなことに興味・関心を持ち、何でも知りたがります。子どもたちの学びの手助けをしながら、うまくできたときには、「やったね!」「よくできたね!」と笑顔でほめてあげることで、「次もやってみよう!」とする意欲や自信を育てましょう。

また、「早寝、早起き、バランスのとれた朝ごはん」などの基本的な生活習慣を身につけ、家の手伝いなどをすることによって、自分で学習の準備をしようとする習慣も、だんだんと身につけてきます。

学校で学習する主な内容

1年生

- ひらがな、カタカナを読んだり書いたりする。
- 学年配当漢字（80字）を読む。
- 100までの数について数えたり、表したりする。
- 簡単な2ケタのたし算、引き算をする。
- 「て、に、を、は」を使い分けて文章を書く。
- 鉛筆を正しく持って、正しい姿勢で字を書く。
- 1ケタのたし算、引き算をする。
- 時計の時刻を読む。

など

2年生

- 学年配当漢字（160字）を読み書きする。
- 定規を使って筆算をきれいに書きながら計算する。
- 簡単な3ケタのたし算、引き算をする。
- 決められた長さの直線を正しく引く。
- 順序よく話をする。
- 2ケタのたし算、引き算を暗算や筆算でする。
- 九九をスラスラ言う。

など

家庭で学習するときは

- 学習前に身の回りの整理整頓をしましょう。
- 学校からのプリントや宿題は、家族と一緒に確かめましょう。
- 何時までに学習を終えるか、目標を立てましょう。
- 正しい鉛筆の持ち方に注意しましょう。
- 家族の目の届くところで学習させましょう。
- 「ヒジをつかない」「背筋を伸ばす」など正しい姿勢で学習する習慣をつけましょう。

正しい鉛筆の持ち方



生活

テレビの視聴時間にルールを作りましょう

- テレビを見る時間や番組を、家族で相談して決める。
- 食事の時間になったら、テレビを切る。
- 宿題や分担するお手伝いが終わってから、テレビを見る など

食

朝食は必ずとりましょう

朝食には、「眠っている間の消費エネルギーを補う」、「眠っている体を目覚めさせる」、「腸のはたらきを活発にして、便通をうながす」という3つのはたらきがあります。つまり、朝食は「生活リズム」の確立には欠かせないものです。1日のスタートは、「朝ごはん」をしっかりと食べることから始めましょう。そうすることが、学力の向上にもつながっていきます。

朝食を食べない（食べられない）子どもたちは、まず生活習慣を見直す必要があります。前日の夜に夜更かししていないか、夕食や夜食などを食べ過ぎていないかをチェックしてみましょう。



読書

繰り返し読む本や昔話を楽しみましょう

子どもが、一人でもすぐ読めるように手に取りやすい場所に本を置いたり、一緒に本を読んだりして、読書環境を整えましょう。時には、家族が読み聞かせをすることも大切です。

学校図書館にも、たくさんの本があります。この時期に、子どもに読書習慣をしっかりと身につけさせましょう。

学習

学習しやすい環境づくりを進めましょう

小学校に入学し、系統だった学習が始まる低学年では、まず、学習習慣を身につけることが大切です。大人が子どものお手本となるような「学ぶ」姿勢を見せ、家族みんなでよりよい学習習慣づくりに努めましょう。そして、家族の姿が目に入り、言葉を交し合える温かい雰囲気の中で学習させるとよいでしょう。

<国語>

音読 教科書の文章を、句読点に気をつけて、大きな声ではっきりと読みましょう。

漢字 ひらがなや漢字の書き順に気をつけて、ていねいに正しく書きましょう。

読書 子どもにあった本をまわりにおきましょう。読み聞かせをしてあげましょう。

<算数>

• 楽しみながら計算に慣れさせ、正しくできるようになれば、少しずつ速く解く練習をしましょう。

• 間違った問題は、必ずやり直す習慣をつけ、正しい計算手順を身につけるよう練習しましょう。

<生活>

• 休日には、山や川、動植物園などに出かけ、本物の動植物にふれたり、家庭で、生き物を育ててみたりしてもいいでしょう。